

よくある質問



- どんなトイレを準備すればいいの？ →①②③④⑥
- 姿勢が不安定になってしまい、転ばないか心配だけど、どうしたらいいの？ →③④
- トイレ指導はどのように進めていけばいいの？ →⑤⑥

ヒント① 基本的な考え方

トイレ指導を行う前に、まず大切なことはトイレがそのお子さんにとって使いやすいものになっているかということです。そこには、

「トイレが自分でできる工夫」
「安全面への配慮」

の2つの視点が必要となります。保護者の方ともよく話し合いながら、トイレの大きさや設定など、そのお子さんにあったトイレ環境を整備していきましょう。



ヒント② 車いす用トイレの設置について

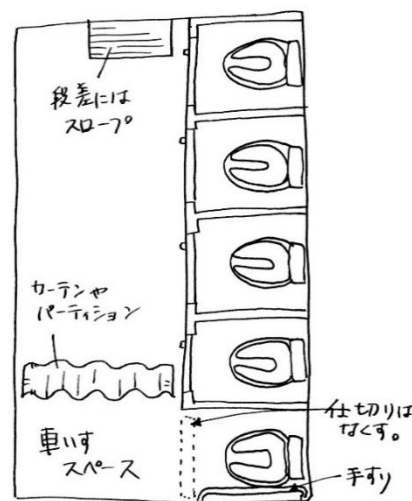
車いすのお子さんがトイレを利用するためには、まず使いやすいように環境を整備する必要があります。それには、新しく専用のトイレを増設する方法と、今あるトイレを改修する方法とがあります。

(1) 多目的トイレの増設



一般の身障者用トイレは、車いすを**転回しやすい広いスペース**があり、便座の横には**可動式の手すり**がついています。また、**開閉しやすい扉**となっています。最近では、**ユニバーサルシート**（大人も使用できる大きさのベッド）がついているところも多く、必要ない時には畳んでおくことができるタイプもあります。

(2) 既存のトイレの改修



障害者用トイレを設置することが難しい場合は、既存のトイレを工夫することで、車いす用のトイレスペースを確保することができます。その場合は、**洋式便座の設置**、扉などの**仕切りの撤去**、**手すりやカーテンの設置**などが必要です。広いスペースの確保や使いやすいトイレの工夫の他に**プライバシーに配慮したスペース**になるように心がけてください。

ヒント③ 特別なトイレ

(1) 改造トイレ



一般の洋式トイレに、安全バーや背もたれ、ベルトなどを付けて、安全に座ることができます。

(2) ポータブルトイレ



(参考: 快適空間
スクリオ)



自由に置き場所を変えることができます。いろいろなタイプのものがあるので、設置場所や身体状況に合わせて選べます。

(3) トイレットチェア



(参考: 有菌製作所)



身体の小さなお子さんがトイレトレーニングをする際に使用します。背もたれや机などがついており、姿勢が崩れやすいお子さんも楽に座ることができます。

(4) 幼児用の便座



お尻が便座から落ち込みそうになっているお子さんに使用します。携帯用があり、付け外しが可能です。

ヒント④ トイレにあると便利なグッズ

発砲スチロールブロック



便座に座ると足が浮いてしまうお子さんに使用します。

足元に置くことで足をついて安定して座ることができます。



上半身がフラフラ
せずに一人で座れる
工夫を！

クッションや机

姿勢が不安定になるお子さん

に使用します。クッションを挟んだり、机に手をつくことで姿勢が安定し、安心して座ることができます。

ヒント⑤ トイレ指導

トイレ指導の進め方や注意点についてはこちら →
(高松支援学校ホームページ)



ヒント⑥ その他

水道の蛇口



車いすに乗ったままで手を洗うのは難作業の一つ。長い蛇口やカランが市販されています。

衣服の工夫

ボタンがついたズボンやジーンズなどの伸縮性のない生地の子供用ズボンは、お子さんが着脱するのも指導者が援助するのも大変です。**ウエストにゴムや紐のついたものや伸縮性のある生地の子供用ズボン**が着脱しやすいです。

ウォシュレットの使用

お尻を拭くことが難しいお子さんにお勧めします。お尻を清潔に保つことができます。

この資料に関するお問い合わせは・・・